

毎月19日は、「かがわ育児の日」



県を含む官民67団体で構成する「かがわ子育て支援県民会議」では、毎月19日を「かがわ育児の日」（育=い（1）く（9）児の日）として提唱。育児の日を普及させ、安心して子どもを育てることができ環境づくりを進めています。

かがわ子育て支援県民会議会員の取組みレポート Vol.5

香川県児童・青少年健全育成事業団×四国学院大学 （さぬきこどもの国 事業所）

今回取材したのは、さぬきこどもの国で実施された「はぐくみ×カレッジ by四国学院大学」です。



日時 令和2年12月5日（土）10:30～11:30
13:30～14:30

場所 さぬきこどもの国（こども劇場・2F研修室）
対象者 子どもとその保護者

「はぐくみ×カレッジ」は、香川県児童・青少年健全育成事業団として、地域の大学と協働で、親子のスキンシップを図るプログラムを企画・実施しています。

今回、取材にご協力いただいた四国学院大学2・3年生の学生の皆さん。大学の教員の指導のもと、約2か月かけて作成したゲームの道具はすべて手作り。当日は教員やさぬきこどもの国のスタッフから、子どもと上手に接するためのアドバイスを受けながら、実施していました。

今回のテーマは「冬の運動フェスティバル」！

玉入れやボーリングなど、四国学院大学の学生が皆さんが企画した色々なスポーツゲームを、子どもも保護者も学生もスタッフもみんなと一緒に楽しんでいました。同じスポーツゲームを行っていても、ひとりで楽しむ子、親や学生たちと一緒に楽しむ子、ゲームを見て楽しんでいる子など子どもたちの楽しみ方はさまざま。

はじめはゲームを見ているだけだった子どもも、一度ゲームを始めると真剣そのもの！上手にできると、とてもうれしそうでした。



玉入れ、とても上手👏
大人の助けは必要なし。



お父さんと一緒に
雪玉はこび！



100点目指して投球！
届かな～

毎年実施している「はぐくみ×カレッジ」ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、学生にとっては、多くのイベントが中止になってしまった中での開催でした。今回の企画は子どもと直接接する貴重な機会であり、この経験がこれからの将来の糧となっていくのではないのでしょうか。また、参加された保護者はコロナ禍でも企画して下さったことがとてもありがたいと話してくれました。

さぬきこどもの国と県内の大学が協働で行う「はぐくみ×カレッジ」は毎年開催されています。今年度は、2月と3月にも開催予定。詳しくは、さぬきこどもの国HPでご確認ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮して行いました。